

たくさりくるまどう まえ い せ き 田鎖車堂前遺跡

◇◇現地説明会資料◇◇ 平成 26 年 10 月 25 日 (土)



遺跡名：田鎖車堂前遺跡（たくさりくるまどうまえいせき）
所在地：岩手県宮古市田鎖第 11 地割車堂前地内
委託者：岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター
事業名：宮古西道路建設事業
面積：6,200 m²
調査者：公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
担当者：福島正和・鈴木次郎（かながわ考古学財団から出向）
宮内勝巳（千葉県教育財団埋蔵文化財センターから出向）・近藤行仁

はじめに

田鎖車堂前遺跡の発掘調査は、今年 6 月 2 日からスタートしました。この調査は宮古西道路建設事業に伴い、遺跡が広がると思われる 6,200 m²を対象として、事業によって失われる遺跡の記録を後世に残すために行なっています。平安時代を中心とする建物などの遺構や土器・陶磁器などの遺物が見つかりました。

発掘調査でわかったこと

田鎖車堂前遺跡では、奈良～江戸時代までの様々な遺構・遺物が認められます。奈良時代～平安時代の初め頃は竪穴住居を有する集落、江戸時代は畑を持つ屋敷など長い間人々の生活の場であったようです。中でも平安時代の終わり頃、平泉で藤原氏三代が勢力を誇っていた時代の遺構・遺物が注目されます。この頃の遺構・遺物は岩手県沿岸地域では非常に珍しいものです。遺構としては掘立柱建物・堀・溝・井戸などがあり、この閉伊地方の拠点であったものと想像されます。掘立柱建物は、その柱穴が非常に大きなものであることから比較的大きな建物であったと想像されます。

出土した遺物では、かわらけ・中国産白磁碗・渥美産陶器など平泉で多く使われるブランド品があり、さらに当時の特色を備えた鉄製品が多くみつかっています。宮古を含め沿岸北部地域では、この時代の遺構・遺物がまとまって見つかったのは今回が初めてであり、田鎖車堂前遺跡が大変重要な遺跡であることがわかりました。



←堀と思われる長大な遺構のようす。まだ全容不明ですが、幅 5m、深さ 2m 以上の非常に大規模なものになりそうです。白破線で示した幅と方向が想定されます。

↓掘立柱建物のようす。たくさんの柱穴がみられます。柱穴の直径は大きなもので直径 80cm あります。



↑井戸断面のようす。真っ黒い土で埋まっていました。今でも 1m ほど掘ると水が湧いてきます。中からは陶器片や鉄鍋の破片、火打金などが出土しました。



→石が並べられた溝のようす。底の方で小札や白磁碗が出土しています。これらは一時期にまとめて捨てられたような状況が観察できました。



■■■■■今回の発掘調査で出土した平安時代終わり頃の遺物■■■■■

かわらけ・白磁碗（中国産）・陶器（渥美産・常滑産）などに加え、小札・鉄鏃・馬具（はみという部品）・火打金・はさみ・毛抜きなど鉄製品が多く出土しました。かわらけの特徴は、12世紀後半（1,150～1,180年頃）の平泉出土のものとかわりないものです。白磁碗も12世紀の遺跡から見つかるもので、中国大陸の窯で生産され、運ばれてきたものです。渥美産・常滑産陶器は現在の愛知県にあった窯で生産され、平泉へ多く運び込まれました。大鎧に用いられる小札の出土は全国的にも大変珍しいものですが、今回13枚出土しました。特に、白磁碗と溝の底から一緒に出土したため、時代が特定できる貴重な出土例となりました。

この田鎖車堂前遺跡を営んだ人たちは当時平泉中枢部の藤原氏と深い関わりがあることが、これら遺物の内容からも推測できます。

※室町時代の文献史料では、この田鎖の地に馬の「牧」があったことを思わせる記述がみられます。

「奥州用伊郡到来」
 「多久左里之牧両三足候」
 一条兼良「尺素往来」
 「乗りたる馬は奥のたくさり」
 一条兼良「鴉鷺合戦物語」

岩手県遺跡年表

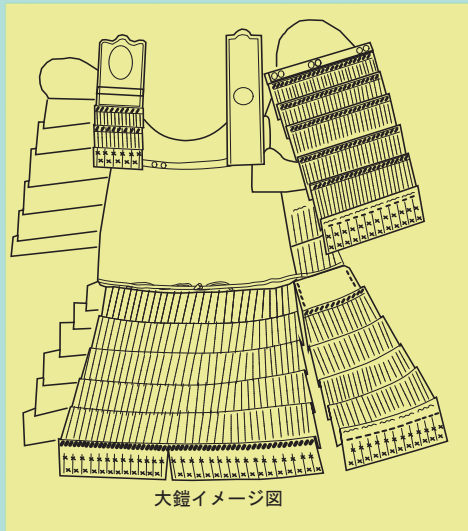
年代	時期区分	主な事柄	主な調査遺跡	主な国・県指定遺跡
BC10000年	旧石器時代	大型動物が生息する	遠野市宮守町金取遺跡 奥州市胆沢区上萩森遺跡 西和賀町（旧湯田町）大台野遺跡 久慈市山形町早坂平遺跡	
		気候が温暖になる 土器の使用が始まる		
8000年	縄文時代		岩泉町竜泉新洞遺跡 盛岡市大新町遺跡 軽米町馬場野II遺跡	
			住田町蛇王洞穴遺跡 二戸市馬立I遺跡 山田町沢田I遺跡	(県)大船渡市関谷洞窟 (国)遠野市綾織新田遺跡 (国)宮古市崎山貝塚 (国)一戸町御所野遺跡
4000年	前期	大規模なムラができる 漆の本格的な使用が始まる		
			紫波町西田遺跡 花巻市大迫町観音堂遺跡・立石遺跡	(国)北上市八天遺跡
5000年	中期			
			盛岡市蔭内遺跡	
2000年	後期			
			大船渡市上鷹生遺跡 北上市九年橋遺跡	(国)大船渡市大洞貝塚
1800年	晩期	亀ヶ岡文化が広がる		
			稲作が始まり、金属器が使用される	大船渡市上甲子遺跡 一関市谷起島遺跡 滝沢村湯舟沢遺跡 奥州市水沢区常盤広町遺跡 盛岡市永福寺山遺跡
300年	弥生時代	卑弥呼が邪馬台国王となる		
AD300年	古墳	大和朝廷が国家統一を進める 古墳が各地につくられる	奥州市水沢区高山遺跡	(国)奥州市胆沢区角塚古墳
			奥州市水沢区中平入遺跡 北上市鑑谷地遺跡 奥州市水沢区膳性遺跡 花巻市熊堂古墳	(県)矢野町藤沢巖夷森古墳 (国)北上市江釣子古墳群 (県)岩手町浮島古墳群
400年	時代	仏教が伝わる 聖徳太子が摂政となる 大化の改新がおこる		
			宮古市長根I遺跡	
600年	奈良時代	奈良に都がつくられる		
			京都に都がつくられる 胆沢城・志波城がつくられる 各地に荘園が広がる	(国)奥州市水沢区胆沢城跡 (国)盛岡市志波城跡 (国)矢野町徳丹城跡
800年	平安時代			
			軽米町邑角子久保VI遺跡 二戸市浄法寺町飛鳥台地I遺跡	
1000年	時代	前九年・後三年合戦がおこる	金ヶ崎町島海摺跡	
			平泉藤原氏滅亡する	平泉町柳之御所遺跡 奥州市衣川区接待館遺跡
1200年	鎌倉時代	鎌倉幕府ができる		(国)一関市骨寺村荘園遺跡
			盛岡市繁III遺跡	
1400年	室町時代	文永・弘安の役おこる		
			花巻市笹岡館跡 一戸町一戸城跡 紫波町柳田館跡 久慈市久慈城跡 遠野市篠館跡	
1600年	安土桃山時代	秀吉全国統一する		(国)二戸市九戸城跡 (国)盛岡市盛岡城跡
			奥州市衣川区北館跡	
1800年	江戸時代	江戸幕府ができる		(国)北上市・金ヶ崎町南部領伊達領境塚
		鎖国が始まる	紫波町栗田III遺跡	
近・現代	近・現代	開国がおこなわれる 明治維新	遠野市佐比内鉄鉱山跡	(国)釜石市楯野高伊勢 (県)釜石市栗林館跡 (国)奥州市水沢区高野長英旧宅

田鎖車堂前遺跡

さいごに

田鎖車堂前遺跡の発掘調査は今後も続きますが、これからこの遺跡がどのような性格を持つのか慎重に調査し、検討したいと思います。特に、各時代の遺構及び遺物を整理し、遺跡内での遺構の変遷を明らかにする必要があります。

最後になりましたが、宮古土木センター、宮古市教育委員会、近隣の皆様、調査に参加していただいた作業員の皆様には、日頃のご理解とご協力に感謝申し上げます。



大鎧イメージ図